

つくばみらい民報

2019年8月発行 第155号

発行：日本共産党つくばみらい市委員会 委員長 川上 文子
 長渡呂新田 830-21 ☎： jcp-ina-yawara@ivory.plala.o.jp
 TEL・FAX：57-1583
 市議：古川よし枝 ☎58-8597 小島新田 64-3

展望を示し
暮らしに役立つ
しんぶん
赤旗

お読みください
 日刊紙月 3497円
 日曜版月 930円

2019年 参院選

野党共闘 10選挙区で勝利 改憲勢力の「3分の2」を阻止



7月21日投票の参議院選挙は安倍政権での改憲許さない市民と野党の共闘で、32の1人区すべてで候補者を擁立し、岩手、宮城、秋田、山形、新潟、長野、滋賀、愛媛、大分、沖縄の10選挙区で大激戦に勝利、改選2議席から大きく前進しました。改憲を目標とする改憲発議に必要な「3分の2」の議席確保を阻止することができました。

日本共産党は比例代表で4議席を確保し、選挙区選挙では現職の東京で吉良よし子、京都で倉林明子の二議席を、新たに埼玉で伊藤岳の当選で三議席となり、比例代表、選挙区を合わせて7議席を確保しました。改選比1減となりましたが得票数、率とも2017年の総選挙より前進しました。

茨城選挙区の大内くみ子候補も12万9千151票を獲得し、得票数、率ともに過去最高の大奮闘をしました。

今回の選挙で大きな力を発揮した市民・野党の皆さんとの共闘をさらに広げ、改憲を許さず、公約に掲げた「3つの提案」実現に向け、日本共産党は新たな決意でがんばってまいります。引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

日本共産党 比例4、選挙区3議席を確保



選挙区大内くみ子

(日本共産党つくばみらい市委員会)

つくばみらい市 開票結果 投票率46.57% 全国(48.8%)

日本共産党	今回の参院選		2017年衆院選		2016年参院選	
	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
比例代表	1,529	8.0	1,487	7.0	2,470	12.0
茨城選挙区	2,276	12.0			2,548	12.4

みらい平駐輪場

改修・増設で有料化
 運営は公益法人 自転車駐車場整備センターが
 料金表

みらい平駐輪場は一部屋根が設置され2段ラック化により、収容台数が増えます。自転車駐車場整備センター(社団法人)が運営を行い、来年4月から有料となります。昨年7月に、利用者アンケートが行われ、屋根付きや盗難防止の強化が要望されましたが、有料化により近辺への放置も懸念されることから料金引き下げを求めました。

駐車種別	定期区分			一時
	1カ月	3カ月	6カ月	
自転車(屋根付き)	2,090	6,270	12,540	
(屋根なし)	1,880	5,640	11,280	150
バイク・50cc未満	2,610	7,830	15,660	250
バイク・125cc未満	3,140	9,420	18,840	300
バイク・125cc以上	4,190	12,570	25,150	400

*消費税10% 単位:円
 *自転車のみ半額学割導入(市助成)

国民平和大行進

ノーモア広島・長崎
核兵器なくせー!



7月8日、9時からみらい平駅前陽光台を、10時半から谷井田市街地から伊奈庁舎間を行進し、伊奈庁舎で小田川市長をはじめ多くの職員の方々の歓迎を受け、集会を行いました。今年は礼文島から行進の丸宗一さん、国際青年リレー行進の韓国大学生アン・スルギさんも一緒に行進をしました。

筑波おろし

▼雨降り天気でボヤリと見えた紫峰(筑波山)も、ここ二三日ハッキリと見える。梅雨明けかな。▼参院選も終わったが、独断政治の安倍政権を退陣させる結果には至らず、口惜しさや数々の反省など後味の残る中、野党共闘は最高の結果を生み出しました。自公・維新などの改憲勢力の野望を打破したことです。このことは国民の総意であり、最も正しい良識の審判でありました。▼かつて社会教育の道を共に歩んだ私の後輩S君は今、市の遺族会に係わる活動をしている。彼に遺族会の会員の数を尋ねると、450人、戦没者は850人。これは一戸で複数の戦没者を出していることを意味すると。遺族会として靖国への佛参りの話もあった。何とも悲しい話じやありませんか。私たちは靖国史観、日本会議の本家本元を肯定するわけには参りません。▼戦時中にはこんな歌がありました。

一、上野駅から九段まで かつて知らないじれったさ 杖を頼りに一日がかり 俸来たぞや会いに来た
 二、天を突くよな大鳥居 こんな立派なお社に 神と祀られ もったいなさよ俸来たぞや九段坂
 唄は「九段の母」。二度と唄いたくも聴きたくもない。

終戦記念日の八月一五日も間近、平和憲法を掲げ平和の誓いを新たにしようではありませんか。

—仁民—

高齢者のコミュニティバス・デマンド乗り合いタクシー料金の引き下げを

【質問】 来年4月からコミュニティバスの再編がされますが、計画は「コースになっていない地域はデマンド乗り合いタクシーで移動ができるように」としています。ならば、デマンド乗り合いタクシー料金はコミュニティバスと同程度の料金にすべき。利用者の7割が高齢者の通院や日用品の買い物の往復の利用で、高齢者の生活実態から片道500円はやはり高すぎるし、

県内実施自治体の中でも最も高い。料金を引き下げるべきではないか。

【答弁】 コミュニティバスとデマンド乗合タクシーの利用目的

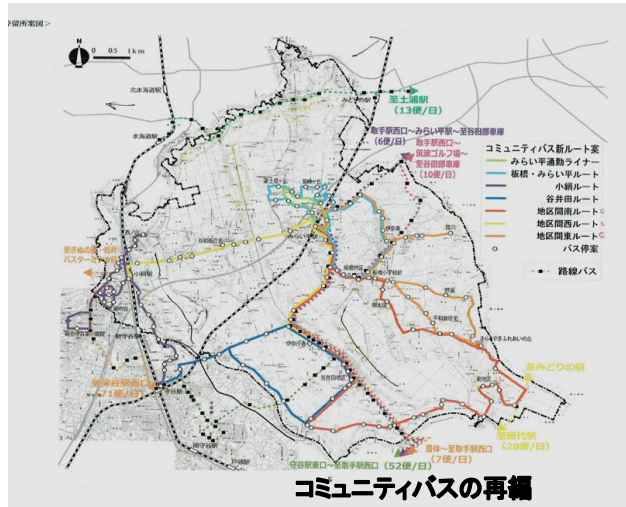
が違うことから運賃の差がでる。他市町村との比較は運行・利用状況が異なるため比較はできない。受益者負担の原則を勘案し検討する。

【質問】 高齢者の外出支援は福祉施策。公共施設利用負担を軽減していることと同じく、外出への助成をすべき。取手、つくば、土浦など近隣市では高齢者への利用料減免を行っている。

【市長答弁】 そういったことも含めて、交通会議で検討を進めていく。

料金	自治体名
600	土浦市(タクシー業共同)
500	つくばみらい市、龍ヶ崎市、行方市
400	阿見町、かすみがうら市
300	古河市、石岡市、常陸太田市、笠間市、神栖市、鉾田市、城里町、東海村、美浦村、利根町、守谷市、つくば市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、桜川市
250	常総市
200	日立市

単位:円



「ひきこもり支援」の相談窓口を

【質問】 長期の引きこもりは親の高齢化に伴い、親御さん、ひきこもり本人などご家族の方々の苦悩は計り知れません。市の対策・支援はどうなっているのか。相談窓口を設置してはどうか。

【答弁】 主に健康増進課の精神保健福祉士が相談を受けるが、社会福祉課で就労の支援、教育委員会は「なのはな」適応支援教室など小中学校の不登校支援を行う中で、早い段階でひきこもり予防を行っている。

特化した相談窓口を設置するには専門的知識を有する職員の配置が必要。また、身近なところでの相談はしづらいということもあるので、市独自の相談窓口の設置は考えていない。県の相談支援センター職員との同行訪問が可能になったことから県相談支援センターと連携をはかる。

【質問】 利根町のように「相談窓口があること」をしっかりと広報することが大事ではないか。



放課後等デイサービスの運営実態はどうか、確認を

【質問】 障がい児等の放課後や長期休暇のデイサービス事業は、昨年4月の報酬改定により運営が大変になり、サービスや人件費の削減などが起きています。改定は障がい程度が重い利用者が半数以上の場合は1区分、半数に満たない場合は2区分に分けられ報酬が低く抑えられます。市内の事業所の実態はどうか。

【答弁】 市内の利用者は76人、事業所は31か所、すべて2区分の事業所。報酬改定によるサービスの低下や人件費の削減により雇用形態で正規が非正規等になったなどは聞いていない。確認はしていない。

【質問】 市内の事業所を訪問したが、「報酬が低くなったことで、他の事業とのやりくりで、運営は難しい」という事業所もあった。事業所の実態の確認をするよう求める。

母子手帳の電子化

現在の紙ベースの母子手帳と併用で母子手帳の電子化を要求。市は子育て情報の「ママフレ」アプリ導入と合わせて、母子手帳の電子化を行うと答弁しました。実施されれば、いつでもスマホ・タブレットで個人の予防接種の日程や成長の記録のグラフ化ができ、子どもの成長を祖父母など家族で共有できます。



3月議会に提出した「後期高齢者の医療費自己負担の2割への引き上げ反対」意見書提出の請願が不採択になった。

請願に賛成したのは紹介議員に **請願 不採択に** 賛成の討論後、直井誠己議員が反なってくれ **「後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げ反対」** 対討論に立ち、た海老原弘・直井高宏議員と共産党の古川議員。

古川議員は「医療費が上がれば、受診を控え、重症化になりかねない。また、高齢者のやりくり生活の中で医療費が高くなれば食費や交際費の節約で社会的つながりが疎遠になる。長生きを喜べない社会でいい

のか。1基100億を超える戦闘機の爆買いなどやめて社会保障を充実させるべき」と賛成討論。

費の4割は若年層が負担をしていることを鑑みると賛成できない」と主張。

若年層もやがては高齢者になる。高齢者のいのちと暮らしを守る社会保障制度を充実させることが必要ではないか。

(年金者組合 岡本弘吉)